# This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(54) ORGANIC METAL VAPOR GROWING DEVICE

(11) 4-357825 (A) (43) 10.12.1992 (19) JP

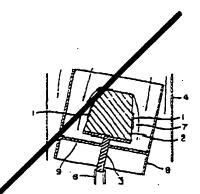
(21) Appl. No. 3-159746 (22) 4.6.1991

(71) FURUKAWA ELECTRIC CO LTD: THE (72) SATOSHI HATTORI

(51) Int. Cl<sup>5</sup>. H01L21/205

PURPOSE: To form uniform and thin film crystals on wafers by integrally providing a susceptor holder at the center of a cylindrical inner tube by bringing

the axes of both into coincidence. CONSTITUTION: A cylindrical inner tube 8 is secured to each end of a supporting arm 9 provided at a lower shaft of a susceptor holder 3. A truncated pyramidal susceptor 2 in which wafers 1 are mounted on the respective side faces, is secured to the holder 3, and the lower shaft of the holder 3 is mounted at the upper end of a rotary shaft 6 in a reactor 4. When material gas and carrier gas are introduced into the reactor 4 to grow a semiconductor film crystal on the wafer 1 while heating the susceptor 2, even if the holder 3 is obliquely mounted, gas inside the tube 3 flows in parallel, the flows of the gases on the respective wafers 1 become equal, and thin films of uniform thickness be grown.



(54) SEMICONDUCTOR DEVICE AND MANUFACTURE THEREOF

(11) 4-357826 (A) (43) 10.12.1992 (19) JP

(21) Appl. No. 3-132663 (22) 4.6.1991

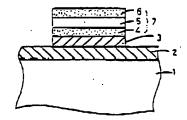
(71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) MEGUM MATSUURA(2)

(51) Int. Cl<sup>2</sup>. H01L21/28,H01L29/46,H01L29/62,H07L29/784

PURPOSE: To obtain a semiconductor evice having a polyside film having high

performance and a method for manufacturing the same.

CONSTITUTION: A high melting point silicide film 7 is formed on a polycrystalline silicon film 3 hereby to form a polyside film. The film 7 is formed of three films of a first high melting point silicide film 4, a second high melting point silicide film 5 and a third high melting point silicide film 6. A composition ratio of high melting point metals of the film 4 to the film 6, is set higher than that of high melting point metal to the film 5. Adhesive properties between the silicon film and the silicide film are excellent, an increase in a stress of the silicide film can be prevented, and the surface of the silicide film is according to the silicide film in according to the silicide film are excellent, and the surface of the silicide film are excellent, and the surface of the silicide film are excellent, and the surface of the silicide film are excellent, and the surface of the silicide film are excellent. film is scarcely oxidized. Further, when the polyside film is manufactured, a processing margin is large.



(54) MANUFACTURE OF SEMICONDUCTOR DEVICE

(11) 4-357828 (A) (43) 10.12.1992 (19) JP

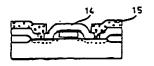
(21) Appl. No. 3-132721 (22) 4.6.1991

(71) SHARP CORP (72) HIROLOOTAKE

(51) Int. Cl5. H01L21/28, H01L21/265

PURPOSE: To provide a method for manufacturing a semiconductor device, in which resistances of a source, a drain and a gate are reduced and a resistance of a contact is reduced by implanting metal ions and silicifying it.

CONSTITUTION: A method for manufacturing a semiconductor device comprises the steps of implanting Co ions 13 in a source, a drain and a gate of a surface of a silicon substrate 1, forming a CoSi, film 13a by heat treating, reducing resistances of a source 9, a drain 10 and a gate 4a regions, and reducing resistances of contacts of wiring 15 with the silicons 9, 10, thereby preventing reaction. The method further comprises the steps of simultaneously forming CoSi, films 17a on contacts of the source, the drain and the gate, thereby reducing resistances of contacts of wiring 13 with silicons 24, 26 and preventing reaction. Thus, the resistance of the contact can be reduced, and reaction of the wiring with the silicon can be prevented.



#### (19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

#### (11)特許出顧公開番号

### 特開平4-357828

(43)公開日 平成4年(1992)12月10日

(51) Int.Cl.\*

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

H 0 1 L 21/23

21/265

3 0 1 S 7738-4M

• ....

8617-4M

HO1L 21/265

Z

#### 審査副求 未請求 請求項の数2(全 5 頁)

(21)出願番号

特願平3-132721

(22)出顧日

平成3年(1991)6月4日

(71)出額人 000005049

シヤープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 大竹 弘亥

大阪市阿倍野区長池町22番22号 シヤープ

株式会社内

(74)代理人 弁理士 野河 信太郎

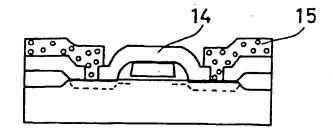
#### (54) 【発明の名称】 半導体装置の製造方法

#### (57)【要約】

【目的】 金属イオンの注入とそのシリサイド化により、ソース、ドレイン及びゲート部の低抵抗化やコンタクトの低抵抗化を図る半導体装置の製造方法を提供する。

【構成】 シリコン基板1の表面のソース、ドレイン及びゲートにCoイオン13を注入し熱処理によりCoSi: 膜13aを形成して、ソース9、ドレイン10及びゲート4a領域の低抵抗化を図るとともに、配練15とシリコン9、10とのコンタクトの低抵抗化、反応防止を図る半導体装置の製造法である。また、ソース、ドレイン及びゲートのコンタクト部に、同様に、CoSi: 17aを形成することにより、配練23とシリコン24、26とのコンタクトの低抵抗化、反応防止を図る半導体装置の製造法である。

【効果】 コンタクト部の低抵抗化、配線とシリコンと の反応防止を図ることができる。





#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ソース、ドレイン及びゲートからなる素 子領域に、金属イオンを注入する工程と、素子領域のシ リコンと注入された金属により自己整合的に金属シリサ イドを形成する工程とからなる半導体装置の。こ場方法。

【請求項2】 ソース、ドレイン及びゲートからなる業 子領域のコンタクト開口部に、金属イオンを注入する工 程と、素子領域のコンタクト閉口部のシリコンと注入さ れた金属により自己整合的に金属シリサイドを形成する 工程とからなる半導体装置の製造方法。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、高速の大規模集積回路 などに好適に実施される半導体装置の製造方法に関す る.

#### [0002]

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】一般 に、ソース・ドレイン及び両者間に位置するゲートから なる素子形成領域とこの領域部の外側に位置する素子間 分離領域部とを有する半導体基板からなるMOS FE Tにおいては、図16ないし図19に示す4つのタイプ のコンタクト閉口型の金属配線構造が採用されている。

【0003】(i) 第1のものは図16に示すようにソ ース24、ドレイン23、ゲート25と、これらの外側 に例えばSIO: の素子分離膜21を有するシリコン基 板20上に、CVD法によって積層されたコンタクト閉 口22aを有するSiO:の層間絶縁膜22を介してA 1にシリコンを固溶させたA1-Si層23を形成し、 それによってA1中へのシリコンの拡散にて置換された A1による接合破壊の現象、いわゆるアロイスパイクの 発生を防止すると共に、A1-Si層23とSi基板2 0とのコンタクト部を徴量にエッチングし、それによっ て表面汚染層もしくはダメージ層を除去して低抵抗化を 図るようにしたものである。

【0004】しかし、上記接合破壊に対して、上述した ようにSi入りA1が有効であるが、過飽和のSiがコ ンタクト上に固相エピタキシャル成長し、コンタクト抵 抗を増大させる問題が新たに発生し、サブミクロン領域 へと微細化すると、最悪のケースとして、コンタクト部 が折出したSiに完全に覆われ、接触不良を引き起こ す。これらの問題は、LSIの歩留りを低下させる重大 な問題となっている。

【0005】 (i i) 第2のものとして、図17に示す ように、Al-Si層23とSi基板20の反応を防止 するために、両者23及び20間にTiWやTiN、あ るいはMo.W.Coなどの高融点金属及びそれらのシ リサイドからなるパリアメタル層27を挿入した構造が 提案されている。このパリアメタルの挿入によりコンタ クトの信頼性は向上するが、上記第1のものと同様、ソ ース・ドレイン及びゲートの表面抵抗やコンタクト抵抗 50 は依然高いままである。

【0006】(ili)第3のものとして段差被覆性に 伴う問題を、図18に示すように、W選択CVD法を用 いて形成したコンタクトプラグとしてのタングステン層 31によってコンタクト開口部を埋め込むようにして解 決した第3のものが(ここされている。しかし、ここで は、選択CVD法がSI表面に敏感なため選択成長の再 現性が、更には、コンタクト抵抗の増大が問題となって いる。そして、(1 v) 第4のものとして、図19に示 10 すように、ソース24、ドレイン26上及びゲート25 上へTiSiz、CoSiz あるいはWSiz などのシ リサイドもしくはタングステン層28を選択的(自己整 合的)に形成することができ、かつ表面抵抗やコンタク ト抵抗を低抵抗化するようにしたSALICIDE (S elf Aligned SilicidedSour ce/Drain)構造が提案されている。このサリサ イドの形成としては、スパッタ法でTiやCoの堆積 後、RTA (Rapid ThermalAnneal ing) 法によって、下地のSiと反応させて、TiS i : やCoSi : を形成する方法が発表されている。こ の場合、SiO。上の未反応の金属は、薬液で除去され る。一方、タングステンの場合には、堆積プロセスのみ で、ソース24、ドレイン26及びゲート25へ選択的 に形成するというW選択CVD(ChemicalVa por Deposition) 法が提案されている。 【0007】しかしながら、サリサイドの作製において は、シリサイド化がゲート部とソース・ドレインの両方 から進行するため、ゲート部とソース・ドレイン部との

2

[0008]

である.

【課題を解決するための手段】この発明は、1. ソース ・ドレイン及びゲートからなる素子領域に、金属イオン を注入する工程と、素子領域のジザコンと注入された金 40 属により自己整合的に金属シリサイドを形成する工程と からなる半導体装置の製造方法である。この発明は、ま た、2、ソース・ドレイン及びゲートからなる素子領域 のコンタクト開口部に、金属イオンを注入する工程と、 素子領域のコンタクト開口部のシリコンと注入された金 属により自己整合的に金属シリサイドを形成する工程と からなる半導体装置の製造方法である。即ち、この発明 は、金属イオンの注入とそのシリサイド化により、素子 領域の低抵抗化や素子領域コンタクト部の低抵抗化、配 線とシリコンとの反応防止を図るものである。

絶縁が難しい。また、Wの選択CVD法は、シリコン基

板の表面状態に敏感なため選択成長の再現性に乏しく、

また、WSi: の抵抗もやや高い。このように、コンタ

クト特性やサリサイド特性が大きな問題となっている。 本発明の目的は、上記技術的課題を解決し大規模集積回

路の信頼性を向上した半導体の製造方法を提供すること

[0009]

【作用】本発明に従えば、次のような作用がある。①本法により、ソース/ドレイン及びゲートの表面抵抗を従来法(図16、図18)に比して、1折以上低減でき、デバイスの高速化に大きく寄与する。②コンタクト抵抗が従来のもの(図16なしい図19)、七して、大幅な改善ができ、同様にデバイスの高速化に大きく寄与する。

【0010】③ソース/ドレイン及びゲート形成が自己 整合的に行えるため、リソグラフィの工程減少などプロ セスの簡略化が図れる。④設計の余裕度の拡大並びに、 必要面積の縮小化に寄与するため、微細化に貢献する。 【0011】

【実施例】以下この発明の実施例を図面にて詳述するが、この発明は、以下の実施例に限定されるものではなく、その趣旨を逸脱しない範囲で種々変形して実施することができる。まず図1に示すように、SI基板1上にLOCOS(Local Oxidation of Silicon) 法を用いてフィールドSiO: 膜2を形成し、素子間を絶縁分離する。

[0012] この際、他の微細化プロセスに対応した素 20 子間分離法、例えばシリコン基板をエッチングして、C V D法によるSiO。膜を堆積した後、エッチパック法により埋め込みを行う埋め込み絶縁分離法などを用いて絶縁分離するようにしてもよい。素子間分離後は、図2に示すように、Si基板1上全面に、順次ゲート酸化膜3、ポリシリコン膜4を積層する。

【0013】次に、図3に示すように、リソグラフィとRIE (Reactive IonEtching)により、後にゲートとなる領域のポリシリコン膜4aを残してエッチングする。この後、図4、図5に示すよう30に、LSIの欧細化と共に問題となってきたホットキャリア効果に対する対応策として提案されているLDD (Lightly Doped Drain)構造のプロセスを実施する。

【0014】このとき、まず、n型(またはp型)の低 遺度のイオンを注入することにより低遺度不純物注入領 域8を形成し、公知の方法でサイドウオールスペーサー 12を形成した後、高遺度領域ソース9、ドレイン10 を形成する。この高遺度注入はシリサイドを形成してか らでも可能である。次に、図6に示すように、Coイオ 40 ン13を50-ke-Vで、3E17(3×10<sup>17</sup>)cm<sup>-2</sup> 注入する。この場合、薄膜のSiO、が表面についてい てもよい。

【0015】次に、600で、1時間と800で、1時 示す構成説明図である。 間の熱処理を施せば図7のように、ポリシリコン膜4a 【図3】上記実施例に とシリコン基版1上のみに自己整合的にCoSi:膜1 ②3 aが100nm形成される。このため、ソース、ドレインの扱い接合化も図れる。あとは、通常の方法にて層 示す構成説明図である。 間絶縁膜14を堆積し、コンタクト部を開口後、配練工 【図5】上記実施例に 程を進めれば図8に示す半導体装置が完成する。先の熱 50 示す構成説明図である。

処理は、RIAでも可能である。

【0016】このようにして形成されたデバイスのソース9、ドレイン10及びゲート4 a は、ともに、14μohm cm以下の低抵抗化が図られた。次に、ローカルインターコネクト法への実施例を説明する。図8の後に層間絶縁膜形成」を行わずに、配練工程を進めると、図9のような半導体装置が完成する。これが、ローカルインターコネクト法の適用例である。本法では、従来の関ロ型コンタクトに比して、図10、図11に示すように大幅な必要面積の縮小が可能となる。即ち、図10、寸に大幅な必要面積の縮小が可能となる。即ち、図1で、するいはドレイン)とのコンタクト必要エリアの幅Dに比して、図11に示す本実施例のコンタクト必要エリアの幅d(d<D)を十分小さくできる。

【0017】次に、コンタクト部への実施例を説明する。図12のようにコンタクト部を開口して後、Coイオン17を注入する。次に、図13に示すように、上記同様、熱処理後CoSiz 膜18を自己整合的に、コンタクト部のみに形成する。CoSiz の作製条件は、先の実施例と同様の条件でよい。Coイオンは微細なコンタクト径になっても注入可能なため、CoSiz は自らパリアメタルの役目があり、他の特別の材料は不要である。次に、プロセスを進めると、図14、図15に示すような半導体装置が完成する。すなわち、図14においては、コンタクト抵抗の低減が大幅に可能である。また、図15においては、Wの選択成長が安定化すると共に、コンタクト抵抗の大幅な低減が可能となる。

[0018]

【発明の効果】以上のようにこの発明によれば、金属イオンの注入とそのシリサイド化により、ソース、ドレイン及びゲートからなる素子領域の低抵抗化とコンタクト部の低抵抗化、配線とシリコンとの反応防止、高密度化が図れる。また、金属イオンの注入とそのシリサイド化により、ソース、ドレイン及びゲートからなる素子領域のコンタクト部の低抵抗化、配線とシリコンとの反応防止が図れる。これにより、高速化、高信領化、高密度化を実現でき、その結果、LSIの性能を大幅に向上できる効果がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の第1実施例における製造工程の第1 ステップを示す構成説明図である。

【図2】上記実施例における製造工程の第2ステップを 示す構成説明図である。

【図3】上記実施例における製造工程の第3ステップを 示す構成説明図である。

【図4】上記実施例における製造工程の第4ステップを 示す構成説明図である。

【図 5】 上記実施例における製造工程の第5ステップを示す構成説明図である。

【図 6】上記実施例における製造工程の第6ステップを 示す構成説明図である。

【図7】上記実施例における製造工程の第7ステップを 示す構成説明図である。

18】上記実施例における製造工程の第8ステップを示す構成説明図である。

【図9】この発明の第2の実施例を説明するための構成 説明図である。

【図10】従来例を説明するための構成説明図である。

【図11】上記第2の実施例を説明するための構成説明 10 図である。

【図12】この発明の第3の実施例の1ステップを説明 するための構成説明図である。

【図13】上記第3の実施例の1ステップを説明するための構成説明図である。

【図14】上記第3の実施例の1ステップを説明するための構成説明図である。

【図15】上記第3の実施例の1ステップを説明するための構成説明図である。

【図16】従来例の製造工程の第1ステップを示す構成 20

説明図である。

【図17】従来例の製造工程の第2ステップを示す構成 説明図である。

ô

【図18】従来例の製造工程の第3ステップを示す構成 説明図である。

【図19】従来例の製造、 2の第4ステップを示す構成 説明図である。

【符号の説明】

1 シリコン基板

2 S i O<sub>2</sub>

3 ゲート酸化膜

4 ポリシリコン

8 低濃度不純物注入領域

9、10、24.26 高濃度不純物注入領域

12 サイドウオール

13a. 17a CoSi2

14 CVD SIO2

15 A1-Si

27 パリアメタル

